

名古屋城天守閣の整備 タウンミーティング

開催日時、会場及び来場者数

日 時		会 場	来場者数 (人)
平成27年			
12月 6日 (日)	10:00~11:30	熱田区役所講堂	195
12月12日 (土)	10:00~11:30	港区役所講堂	93
12月13日 (日)	10:00~11:30	千種区役所講堂	146
12月14日 (月)	18:30~20:00	北区役所講堂	197
12月16日 (水)	18:30~20:00	名東区役所講堂	149
12月17日 (木)	18:30~20:00	昭和区役所講堂	175
12月18日 (金)	18:30~20:00	西区役所講堂	175
12月19日 (土)	14:00~15:30	中村区役所講堂	166
12月22日 (火)	18:30~20:00	東区役所講堂	104
12月23日 (祝・水)	14:00~15:30	中区役所ホール	184
平成28年			
1月10日 (日)	14:00~15:30	瑞穂区役所講堂	148
1月12日 (火)	18:30~20:00	南区役所講堂	185
1月13日 (水)	18:30~20:00	中川区役所講堂	135
1月14日 (木)	18:30~20:00	緑区役所講堂	170
1月16日 (土)	10:00~11:30	守山区役所講堂	220
1月17日 (日)	14:00~15:30	天白区役所講堂	190
計			2,632

## タウンミーティングでの市長挨拶 抜粋

- 昭和実測図が残っているので名古屋城は寸分違わぬ江戸時代の城が復元できる。戦前の実測図が残っているのは世界で唯一。ワルシャワやドレスデンなども旧市街地が破壊され、再建後に世界遺産になっているが実測図はない。
- 法隆寺でも 1300 年もっている。2 度と火災で燃えないように、2 度と戦争が起きないようにという平和のシンボルとして大事にしていきたい。400 年もつと 150 年くらいで国宝になるのではないかと思う。
- 加藤清正も 2 年ちょっとでやったのだから 4 年半もあればできる。オリンピックに間に合う。
- 名古屋のシンボルを木造で作り、観光客を誘致して稼げるようになれば、そういったお金を福祉に充てることができる。福祉の財源をつくらなければならない。運営を民営化すれば税金を使うどころか儲かって払うようになる。たとえば熱田神宮の年間入場者から初詣分を除いた分くらいの入場者を誘致しないといけない。
- 燃えてしまった名古屋城は涙のシンボルである。名古屋は地獄を見てそこからスタートした。
- 今の天守閣は作ってから 56 年経過しており、耐震診断でも 2 - 2 で倒壊の恐れがある。ほかっておくという選択肢はない。
- 耐震改修だと 29 億円かかって標準的に 40 年しかもたないと言われている。その場合の経済波及効果はゼロだし、お客は失望により減るのではないかと思う。
- 木造復元するのであれば早くやらなければならない。江戸城は図面がないので文化庁は許可しないと思うが、仮に先にやられると木が無くなる。大坂城、広島城、岡山城、熊本城などコンクリートの天守閣がみんな木造化しようとしたら木が無い。
- 経費は 270 億円~400 億円と幅があるが仮に 400 億円だとしても決して高くない。東京駅 500 億円、レゴランドが 500 億円、大名古屋ビルヂング 500 億円、あべのハルカスは 1300 億円である。
- 400 億円の財源は名古屋市債を発行すれば税金を使わなくてもよい。最初に 100 億円現金が必要とのことだったが、総務省に確認したら 400 億円全額起債でいいとのことだった。税金を使わずすべて起債で賄えるが、寄附を集めたり補助金をもらうことはありうる。
- 日本は貧富の差が激しい。銀行には金が余っており、例えば UFJ では 16 兆円預金があって、8 兆円しか貸し出されていない。名古屋市は 1500 億円市債を発行しているが半分新規で半分借り換えで 0 秒で売り切れる。
- UFJ の預金、郵便貯金は金利 0.01%か 0.02%なので 100 万円預けても 100 円か 200 円の利息にしかならない。一方市債は 30 年物なら金利 1.3~1.4%で、利息が 13000 円くらいになる。名古屋市は潰れないから名古屋市債は安心。名古屋城が木造化しなければ、400 億円がどこへ行くかということ、みんな国債を買って東京へ行ってしまう。

「名古屋城天守閣の整備 タウンミーティング」における意見交換の概要

＜熱田区 平成 27 年 12 月 6 日（日） 午前 10 時～11 時 30 分＞

（市民）

- 復元はいつの時期を目指すのか。本丸御殿の工事と重なるのではないか。二之丸や馬出などの復元の考えはあるのか。
- 今どうしてやらなければならないのか。市民の生活を第一に優先して市政運営をして欲しい。
- できるだけ早く木造化することが望ましいが、材料は手に入るのか。工期が長時間になるならば馬出や枳形を増強すべき。戦略を立てて実現してほしい。

（市長）

- 270～400 億円の事業をすべて税金でやると決まった訳ではない。
- 運営も民営化されればサービスも向上するだろう。
- レゴランドは 500 億かけており、流行ってもらわないかんけど、20 年、30 年経つと大変だ。反対に名古屋城は年数が経つごとに価値が上がり、400 年後が最高の値打ちとなる。
- 世界中から人が来て稼げる街になり、福祉も日本一にする。福祉をないがしろにし、税金をつぎ込むと誤解しないでほしい。
- かけがえのない本物を持つ世界唯一の都市として宝を活かしたい。

（当局）

- 復元の時期は宝暦、1750 年代に約 4 年間かけた改修後の状態のもので行いたい。
- 復元にあたって、本丸御殿と時期が重なるという点については、来場者の安全を確保しながら進めていく。
- 時期をずらせば費用が安くなるのではという質問については、まずは事業者の方から提案をもらい、検討していきたいと思う。
- 櫓、石垣の復元は、全体を長期的な視野で整備していくことが重要と考えている。
- ヒノキの供給が間に合うかという点は、具体的な提案をもらって、木材の確保についても確認していきたい。原則として旧来通りの材料・工法、原則国産材ということだが、太い径など材料が揃わないものについては、提案を見守りたい。

（市民）

- 少子化が進む中で早く木造天守ができて名古屋が潤うのも将来の子供たちのためになる。
- 木造復元に賛成。耐用年数が長いこと、内側から見た魅力、木造建築の美しさ、技術の伝承の点で意義がある。
- 数年で無節の木材を確保するのは難しいのではないか。木造復元には賛成だが、非常に拙速なやり方ではないか。

（市長）

- 材木の確保については、一刻も早く着手した方が有利。材木関係の業界の方は、うち

だけでも 7 割くらい揃うとのこと。岐阜県や長野県の林業関係者も早くやってほしいと言っている。

- 姫路城のように大きな心柱は名古屋城にはない。

(市民)

- 2020 年になったら遊園地を作りたい。
- 賛成でも反対でもないが、一番耐震化されていないところはどこか。それを言わなければ市民は納得しない。
- 建物はみんなが必要ないと思った時が寿命で、みんなが残そうと思えば残るものである。木造建築は違法建築となり、中へ入れない。鉄筋コンクリートよりもメンテナンス費用がかかる。

(当局)

- 劣化度調査の結果、コンクリートの耐久性寿命が概ね 40~50 年と出ている。
- 工期工程はプロポーザルで、専門ゼネコンの考え方に基づいた現実的な工程や工期を受けて行っていきたいと考えている。
- 建築基準法においては、建築審査会にかけることになるが、本丸御殿と同様の手続きを踏んでいきたいと考えている。維持管理費についても、これらを踏まえ整理してまいりたい。

(市民)

- 40 年先、100 年先の話をするのであれば、若者の意見を聞いてほしい。
- 本物の観光資源として木造復元を望む。名古屋市にも観光局を立ち上げてほしい。

(市長)

- 本物をつくるのはすごい事業。名古屋城が市民の誇りになるかどうか大きい。
- 福祉財源も天から降ってくる訳ではない。都市に魅力を作り、産業が集積し、その中から初めてお金は生まれる。
- 空襲で焼けてから立ち上がり、納税日本一の街になった。世界にそれをアピールするチャンスはやはりオリンピックの時だと思う。
- 淑徳大学の学生と話したら、木造か耐震改修か半々であったのが、議論の結果 9 割以上が賛成となった。大学だけでなく、若者の集まる場所を訪ねて対話の機会を持ちたい。

(当局)

- 市民が誇りと愛着が持てるよう文化的あるいは観光的資源に磨きをかけ、都市魅力を向上し発信していくことで、交流人口が増加し、地域も活性化している。
- 来年の 4 月に仮称だが観光文化交流局をつくることで準備をしている。
- いろいろな意見を待つだけでなく、地域に出て行って話をしていきたい。

(市民)

- 税金を使わないというのは、欺瞞ではないか。入場者数が 2 倍に増える根拠は何か。木造化で独立採算とするつもりなのか。
- 木造にこだわらずハイブリッドでもいいのでは。部分的には鉄骨を使わないと工期が間に合わないのではないか。木造にするとエレベーターはつくのか。
- 本当に資金回収できるのか。名古屋城もいいが、防災なども必要。優先順位を考えて進めてほしい。

(市長)

- 名古屋ビルディングが 500 億円、レゴランドが 500 億円でうち税金が 170 億円位、あべのハルカスが 1300 億円の事業費で、すべて民間が整備している。
- 江戸城の木造化は漫画のような見取り図はあるが本物ではない。それでも 500 万人は来るだろうと予測している。
- 入場者数は多いように見えるが、東京スカイツリーが 630 万人、江戸城 500 万人と言う数字は不可能だろうか。ある学者は、名古屋城もそのくらい人が来ると言っていた。
- PFI は税金を使わずにやれるが、大変時間がかかる。
- 名古屋は戦災で焼け、そこから立ち直ったことを世界にアピールするならオリンピックがチャンスになる。
- 名古屋の経済力はすごく、400 億円起債してもすぐに売れると思う。
- 30 年間で毎年 300 万人ずつ入れば、入場料 500 円で元本ともに返せる。165 万人増というのは全然無理ではない。
- 歴史的に大変意味がある城で、空襲で焼けて悲しみを乗り越えた名古屋市民を世界に強烈にアピールできる。
- 毎年 100 億円くらいの経済効果はあるだろう。そういうお金をどんどん福祉に充てていく。
- 400 年大事にすれば、400 年後の子供たちが喜ぶだろう。名古屋城は 10 年、20 年経てばどんどん価値が上がる。400 年後にはものすごい価値になる。
- 工期は 4 年です。やはり本物にしないと世界からお客さんは来ない。
- エレベーターはプロポーザルで出してもらおう。
- 日本中に金が余っている。今の金利が安い時に投資して福祉を充実させるという方針をとらないと、都市の魅力がなくなり福祉もガタガタになる。

(当局)

- 木造復元による経済波及効果で 165 万人増を想定している。これは、平成 19 年度に、本丸御殿を復元する際の調査結果による。

(市民)

- 登録文化財所有者の会の活動と有効にリンクさせようとする考えはあるのか。名古屋市以外の徳川と関係ある街と連携してはどうか。

- どれだけの柱が何本いるのか、市民は専門家ではないので数字を出してもらおうとわかる。経済波及効果からどれだけ名古屋市に税金として入ってくるのか、毎年償還にあてるお金はどのくらいの見積もりがあるのか。
- 本丸御殿の素晴らしさを市民に見てもらったうえで天守閣の考え方を呼びかけたらどうか。オリンピックまで急がず、順番を踏まえてやってほしい。

(市長)

- 文化庁とは話をしており、文化庁は応援すると言っているが、進行をきちんと報告してほしいという状況である。
- スポーツの祭典は東京、文化の祭典は名古屋という気持ちでいけばいいと思っている。
- 木材については、1,000本必要。姫路城と違って心柱はない。プロポーザルで出してもらおう。林業の人たちからは早くやってくれと言われている。
- 名古屋市の経済で11~12兆円、税金は全部で2兆6千億円位あり、2割位はある。毎年100億円経済効果があれば、消費税も全部入れて2割位はあるのではないか。名古屋だけにくる税金は毎年5000億円くらいで、市の経済11兆円から見れば5%位にあたるので、100億円の5%の5億円位の税金につながるのではないか。
- 名古屋に図面と寸分違わぬ日本で一番大きな城ができるなら、全国ニュースになるだろう。
- オリンピックの後は景気が下がるし、リニアは世界に対するアピールにはならない。オリンピックに対するアピールだから、その時に同時にすべきである。
- 東京と大阪の真ん中で、新幹線で1日40万人が来る。木造化すれば、すごく多くの人が来ると思う。二条城と一緒にキャンペーンをするなど世界に大いにアピールしていく。

(当局)

- 木材について、平成22年度に調査をしている。「昭和実測図」「金城温古録」「熱田の記」という当時の木材の納品書など古文書があり、そういうものから細部にわたり想定をし、木材の本数を出しており、約4,800㎡必要である。

(市民)

- 名古屋城を再建するのはいいと思う。運営についても民間を入れる考えはあるのか。

(市長)

- 運営については、民間でやってもらいたい。民間だと自分の飯が食べなくなるなどいろんなプレッシャーがある中で努力し、頭の下げ方も違う。名古屋城は20何人かいて税金で5億円くらい使う。民間が手を上げてくれればうれしい。

（市民）

- 誰が一体、木造復元をしたいと言っているのか。大切な税金は市民のために使ってほしい。市民生活に密着したところから予算を付けるべき。
- 木造には賛成だが、今の進め方には反対。なぜプロポーザルの資料が出てからタウンミーティングを開かないのか。オリンピックに間に合わせるのには無理があるのではないか。
- 復元すれば世界から見に来て収益が出る。官民一体で造ればよい。

（市長）

- 集客力のある儲かる施設であり、民営化する。儲けて福祉の財源を生み出さなければならぬ。
- 現在はトヨタ自動車のおかげがある。都市の魅力に適切な投資をして財源を確保しなければならない。
- 私の周りでは多くの方が木造化を望んでいる。
- 今の進め方が問題だと言われるが、木造再建はあちこちの城で検討されている。他で先に再建が始まれば材料が確保できなくなってしまう。江戸城、大阪城もやってくる。木材の専門家はなるべく早い方がよいと言っている。
- 400 年前に加藤清正が 2 年ちょっとで完成させている。2020 年は無理ではない。プロポーザルではっきりすると思う。
- 名古屋に日本一がないのは情けないと思う。名古屋は京都と東京の間に位置し、新幹線で 1 日 40 万人、年間で 1 億 2 千万人、日本の全人口と同じ人数が通っている。
- せっかくの図面が残っており、これは名古屋城に何かあった時に木造で建てなさいよという図面を作った人からのメッセージが込められていると思う。ぜひ実現させたい。

（当局）

- 復元の要求がどこから出てきたかということについては、現天守閣の老朽化の進行、耐震性能が現行に合っていないなどの課題が生じているということがある。
- プロポーザルの結果を待ってから、今日のようなタウンミーティングを行うべきとのご意見だが、現在は木造復元をする場合の提案を事業者の方に募集をしている。工期・工程・概算事業費が明らかになったのち、その結果を含めて 2 万人規模の無作為抽出の市民アンケートを予定している。
- 名古屋城の見学者における海外からの方の割合は、統計で今、約 2 割が海外からのお客様だと認識している。

（市民）

- 400 年もつ城をつくるのならば、徹底的にこだわって本物を目指してほしい。
- アンケートで 71%が耐震補強や改修の意見なのに、どうしてこういう形でタウンミーティングがされているのか。2020 年と期限を切って大丈夫なのか。
- 大阪城を建て替える話は聞いたことがない。あと 5 年の短期間で建て替えるとはど

ういう計画なのか。維持費用をどのように考えているのか。

- 名古屋城の復元には賛成だが、金シャチ横丁には反対である。

(市長)

- 早くやらないと江戸城や他のコンクリートの城で木が使われたらなくなってしまう。名古屋城では材木は1000本ほどあるが、推測で6割が檜である。樹齢400年というのは多分なかった。姫路城と違って通し柱も大きいものではない。
- ネットモニターアンケートについては、疑問に思っている。文化庁にも確認しているが、コンクリートでの城の復元はもうできないが、審議会開催前に不可能とは断言できない、審議会でも木造復元が望ましいとなる可能性が高いからわかってくださいよ、との含みだった。それなのに、「コンクリートの再建」などという選択肢を入れたアンケートを実施すること自体が間違っている。このアンケートを出すことも反対だったが、議会が出してほしいとの意見だったので出している。前提が間違っている。文化庁からコンクリート復元はできないと直接聞いている私の意見である。
- 大阪城の建て替えの話がないわけではない。決定的に違うのは、名古屋城には本物の実測図が残っていること。
- 金シャチ横丁は、本当は天守閣の計画をしっかりと決めてから、もっと大規模に名古屋市民が楽しみに訪れる場所となるようにつくれたらよいと思う。
- 江戸城は500万人が来ると試算されている。名古屋城のシミュレーションでは165万人である。東京スカイツリーに630万人来ているのに江戸城は500万人で収まるだろうか。
- 戦争のない名古屋を造るために、初代の城と同じように少なくとも330年、400年大事に、平和に維持しようと世界にメッセージを発信したい。

(当局)

- ネットモニターアンケートについては、資料に26年6月の本会議の答弁から始まる経過をまとめているほか、文化庁の見解について議論があることを補足させていただく。



（市民）

- 今の時代、耐震改修をぜひやってほしい。木造建築で 400 億円も使うのは本当にいいのか。大工も非常に少ない。急いでやらなくてはならないという意味が分からない。
- 江戸時代の構造のままで造って耐震は大丈夫か。実際にどのような構造・設備で造るのか。
- 完全復元だと一般の人には未公開ということになるのではないかと。観光目的であればバリアフリーを含めて造らなければならない。伝統的な建物を維持管理するのに職人が確保できるか。

（市長）

- 400 億円を税金で賄うというのは、今まで役所やってきたからそういうスキームになるのだが、民間の事業者で運営をやったらどうかといえ、やるところがいくらでも出てくる。ものすごい人が来るので儲かる。税金を稼いで福祉の財源を作っていく。
- 大工はみんな 70 歳、80 歳だから早くやらないとみんないなくなってしまう。
- 木造の耐震については、専門の業者にプロポーザルで出してもらおう。名古屋城は濃尾地震にも耐えた。お城は地震に強いと一般的に言われている。
- 設備は事業者からの提案で、史実に忠実ということと最低限必要な設備を提案してもらおう。エレベーターは震災がくると止まってしまう。私が知っている福祉の方は、かえって背負子で人力で上がったほうがいざという時に降りられる、人力の方がやさしいと言っている。ロボットみたいなもので上がっていくものも今は出てくるので、プロの提案を待っている。
- 完全復元を目指す、文化庁の要綱でも必要な防災上の措置は妨げないといっている。
- 150 年くらい経てば国宝になると思うが、みなさんに親しまれ、400 年後に市民の宝となるようにしたい。

（当局）

- 「史跡等における歴史的建造物の復元に関する基準」の中で配慮事項として歴史的建造物の構造及び設置後の管理の観点から防災上の安全性を確保するというので、歴史的建造物の復元の中で史実に忠実にやっていく。
- 防災上、避難上様々なことについて配慮するよう、確保するようになっているのでその指導に基づいて復元を行う。

（市民）

- 天守閣を盛り上げる外周の清掃が寂しい状況であることも考えてほしい。
- 先人がコンクリートで造ったのならそれを大切に耐震補強して残していくことが我々の知恵だと思う。
- これから名古屋城を見ていく若い世代の小中学生にアンケートをしてはどうか。造るなら本物を造ってほしい。

(市長)

- 外周を清掃するよう伺ったので、区長はしっかりやってほしい。世界のシンボルができたらみんなで周りを含めてやるような雰囲気になるといい。
- コンクリートで残せというのも一つの意見だと思うが、法隆寺がコンクリートだったらどうなるか。寸分違わぬ復元ができるならやるべきだと思う。
- 2万人アンケートについては、それが全て決定になるかというには私にはわからない。最終的には議会が、つまりは市民が決めるということ。
- 小中学生へのアンケートは大変面白いと思う。教育委員会に、中学、高校の社会科で議論をしようではないかと、名古屋の街を考えるうえで非常に良いテーマであると強く要請した。空襲前の名古屋城を経験した人の話を聞いたらどうか。
- 造るなら本物で2020年までに造らないといけない。よそが先にやるともうできない。

(市民)

- 私は昔、名古屋城に上ったことがある。階段から練兵場が見えた。
- 階段が急で滑りやすかった記憶があり、内部を同じように復元するのはどうかと思う。木は調整が必要で、3年ぐらいは水につけておかないといけないと思うので、時間がかかりすぎるのではないか。

(市長)

- 階段については、庶民が上る階段と殿様が上る階段があり、殿様が上る階段はゆっくりしたものだったと聞いている。
- 材木については、乾かすなどいろいろ意見があるが、現在プロポーザルをとっている。
- 400年前に2年で造ったことは事実である。

(市民)

- 材料は本物か外国の材料か、和釘か接着剤か。ハンディキャップのある人をすべて排除するのか。天守閣内をどのように使うのか。
- 多少経費がかかると思うが、日本の遺産、世界の遺産になると思う。木造にして残してほしい。

(市長)

- 図面や写真から推測し、木材は1000本くらいで全部寸法や材料がわかっている。国産材で全てやっていただきたく、今ならまだやれると聞いている。
- 釘、接着剤、工法などはできる限り元の方法で極力やっていただくが、消火設備などは文化庁の基準によるもので、それを含めてプロポーザルで提案を受ける。
- エレベーターは一つの論点だが、専門業者の提案に委ねたい。私はエレベーターはない方がいいと思う。人力でたくさん人がいて車いすの方でも上げられるようにする。うまいロボットができるかもしれない。その方がコミュニケーションが取れるし、あつたかい城になると思う。エレベーターを作っても地震や火事の際は動かない。
- 天守閣内の使い方は何も決まっていない。空襲で焼けた写真はぜひ出していきたい。
- アメリカ人に「誰が燃やした」と聞くと「I'm sorry」と言う。本丸御殿にボーイングジャパンが1700万円寄付してくれたので大変ありがたいと言うと、にこっと笑う。

- 東京オリンピックに間に合わせ、空襲のない平和のシンボルとして 400 年大事にしていこうという気持ちがある。

(当局)

- 文化庁の歴史的建造物の復元の考え方について、原則として復元に用いる材料・工法は同時代のものを踏襲するという考え方、また構造及び設置後の管理の観点から防災上の安全性を確保するということがあり、その観点から必要な設備などは行っていく。
- 材料について今提案を求めているのは原則として国産材である。ただし、どうしても長さが足りないとか外材でいくのか寄木でいくのかなどについては提案を求めている。バリアフリーについてもどういう方法か提案を求めている。
- 先ほど市長から材料の話で木材 1000 本とあったが、これは太い材料のことである。

(市民)

- 世界に誇れるよう木造で復元してほしい。
- 期間がかかってもよいので、木造 100%で建築してもらいたい。
- 名古屋の文化、日本の文化として復元してもらいたい。建築に従事する人の奪い合いが起きないか。財源は市民に頼る部分の比重を多くしないと無理ではないか。

(市長)

- 名古屋城に行くと本当にかかりする。名古屋のシンボルだから本物にして大いに自慢できる建物を造りたい。
- 早くしなければ材料がなくなってしまう。江戸城、大阪城、熊本城、広島城などがやると材木がなくなってしまう。やるのならば一刻も早くというのが私の考え。
- 他の城より先に造れば材料はある。江戸城や他の城の後手に回ると、木が大きくなるまで 200～300 年はできない。岐阜県と長野県の林業の方が早く造ってほしいと言っていた。
- 2020 年に間に合うかというが、新しい契約方式として、公共建築の発注側が募集時にスペックが決められない時は、プロポーザルを行って優先権者を設定して、後は随意契約をする方式が国会で通った。現在、プロポーザルを待っている。
- トラックも携帯電話もクレーンもない、夜間工事もできない 400 年前の時代に 2 年で造っている。
- 国内にはお金が余っている。大名古屋ビルディング 500 億円、ミッドランドスクエア 800 億円、レゴランド 500 億円かかっている。民間だったら自分ですぐやる金額だと思う。
- 運営も民営化する。今は役所が運営をして 5 億円ぐらい税金を使っているが、民間がやれば逆になる。名古屋城債を買っていただければ、利息もはるかに高い。名古屋市はつぶれない。

(当局)

- 木材、材料については、現在、すでに切られて使えるような状態になった木あるいは、今後伐採を計画的にしていくような木、そういったものも含めて、今、事業者さんから提案を待っている。職人確保についても同様である。
- 財源については一般財源、地方債の活用が考えられる。さらに国、県に対して天守閣整備の意義や重要性を説明して、補助金などの必要な措置を積極的にお願ひしていく。
- 名古屋城については名古屋市のシンボルであるので、市民の機運醸成を図ることにより、寄附金など財源確保に努めていきたい。
- 来年の 3 月までに事業者から工期、工程、概算事業費等が出てくるので財源フレームを加えた上で、地域バランス等考慮した無作為抽出により、2 万人規模の市民のみなさんにアンケートを取っていく。

(市民)

- 市民の暮らしにとって必要な予算がカットあるいは廃止になる事態になるのではないかと。住民投票などしっかりした形で決めてほしい。
- 材料や職人の確保の話があるが、見切り発車なのか。5層の建物は消防法で人は入れないのではないかと。バリアフリーに関してはどう考えているのか。エレベーターを設置するのか。
- 一日も早く木造天守を再現してほしい。経済効果があって税金が入ればお金も福祉に回せる。名古屋城全体の整備計画の中で、県体育館のあたりをどうするのか、示してほしい。

(市長)

- 市債が借金だというのは、考え方の違いで、これは投資である。都市に力をつけて福祉に回すお金を生み出す。
- エレベーターを造るか造らないかはゼネコンから提案を受ける。担いでと言えば馬鹿にするが、福祉の人たちが、あったかいからいいぞと言っていた。エレベーターを造ったとしても、火事や地震が起きたら止まってしまう。
- 整備計画に関連して、県体育館にはどいてもらいたいとお願いしている。
- 400年前の本当の昔の名古屋城にして、世界遺産に登録されることは間違いない。

(当局)

- バリアフリー、エレベーターの関係については、基本的には旧来の材料あるいは旧来の工法でやるというのが文化庁の基本的な考え方だが、防災とか管理上必要なものについてはそれに付加をする形でやる考え方も示されているので提案を求める。
- 名古屋城全体の整備計画の中で、愛知県体育館の移転については、中長期目標で移転について協議をして働きかけるという計画になっている。
- 本丸御殿が建築基準法の適用除外を受けているが、天守を木造にする場合も適用除外を受ける。ただ、建築審査会を受けて防災、構造、避難等を含めて、安全であるということを確認する。

(市民)

- 金儲けになるというのでわくわくする。大事なものは財源であり、減税を3年間やめてもいいと思う。市債にしてしまうと負債の先送りになるのではないかと。
- 今あるものを使うという名古屋の精神で、耐震補強などお金をかけずにやってほしい。400億円もかけ、木を奪いながらやる復元には賛成できない。

(市長)

- 名古屋城債を100万円持ったとして、利息が10年債だと0.49である。UFJは0.02、郵便貯金は0.04位なので、名古屋城債は10倍から20倍の利息である。
- 名古屋城債は、30年債を発行すると利息は2%、入場料500円で300万人年間入れば30年で返せる。毎年300万人が入る場所にしなければならない。熱田神宮が初詣を除いても400万人が来ているので無理な数字ではない。起債が借金だというのが間違いで、これこそ財産である。
- 名古屋城が燃えている写真は国会図書館に聞いたら1枚しかないそうだ。

（市民）

- 市民の総意が得られてから 3500 万円の調査費をお願いしたいというのが筋ではないか。順序が逆だと思う。
- 木材の調達は早くやらないと手痛いと思う。
- 全体として名古屋の魅力が上がらないといけない。天守閣だけでいても人は集まらないと思う。

（市長）

- オリンピックに間に合わせるということは、戦災からの復興を世界に強くアピールするということ。名古屋は地獄を見たということ伝えるなら、やはりオリンピックである。
- 調査費 3500 万円については、技術提案・交渉方式とあって、公共工事で発注側がスペックを決められない場合に民間のアイデアを貰ってやってもよいという法律ができた。地方でやるのは日本で初めてである。
- 材木は早くやらなければならない。江戸城が先にやってしまうとできない。江戸城の前に名古屋城がやっしまえば他はできない。
- 材木の問題も含めて具体的な提案をもらわないと、木造で本当に復元できるかわからない今の状態では判断できないと思う。提案が出てきて、議会、市民のみなさんに判断してもらう。
- 名古屋城だけでなく、都市の魅力をつくるべきであるが、中核的なまちのシンボル、自慢となるのが名古屋城ではないか。

（市民）

- 大阪城は耐震工事で延命させている。ケーソンの寿命はどれくらいか。エレベーターなどを考慮すると史実に忠実な復元と言えるのか。多門櫓、東北隅櫓の復元を先にすべきではないか。
- 本丸御殿の財源を明らかにしてほしい。巨額なお金を使ってオリンピックにあわせてお城を造っても、お客が名古屋に注目するとは思えない。木造に反対はしないが、もっとゆっくりやればいいのか。2 万人アンケートではなく、市民投票をやってほしい。
- 名古屋には自慢できるものがない。本物の名古屋城を造ってほしい。

（市長）

- 大阪城については図面も何もなく、建っている場所も違うので名古屋城と決定的に値打ちが違う。
- ケーソン基礎については、文化庁はそのままやっていいと言っている。
- 文化庁の要綱でも史実に忠実にやるにしても防災には配慮してよいということになっている。個人的にはエレベーターはいらないと思う。体の不自由な人も人力で担いでいけばよい。そのあたりも提案をもらう。
- 多門櫓や東北隅櫓を先にやった方がよいという意見も一つの考え方だと思う。ただ

し、天守閣はこの機を逃したらもうできないと思うので、ずっとコンクリートで我慢するしかない。天守閣を復元すれば、リニア開通に向けて多門櫓なども復興させて県体育館にも出ていってもらって本物にできればよいと思う。

- 貧富の差が激しいのでお金がないように見えるが、お金は余っている。銀行への預金が12兆円あるがそのうち6兆円しか借りる人がいない。名古屋ビルディング500億円、ミッドランドスクエア800億円で名古屋城よりも高い。レゴランドは税金170億円、あとは民間のお金だが、5年、10年経つと飽きられて大変である。
- 市債を発行すれば30年債は2%の利息がある。市債を買った皆さんは儲かる。その代り300万人来なければならぬが、元利とも全部返還できる。名古屋城で150万人は少なすぎる。熱田神宮は初詣客を除いて400万人来る。そのくらいは来ると思う。
- 住民投票をやっていただきたいという意見もあるが、それも選択肢の一つである。今のルールでは議会で決めることになっている。

(当局)

- 文化庁の歴史的建造物の復元の要綱において材料、工法は同時代のものを踏襲することとなっているが、構造や設置後の管理の観点から防災上の安全性を確保することも書かれている。
- 本丸御殿については、これまで10年間で150億円、その内訳として国からの支出金50億円、県からは10億円、市民からの寄付が50億円、その他税等32億円となっている。
- ケーソン基礎については、現在4本の大きなものが入っている。重さが全体で約8000トンあり、それを撤去しようとする、文化庁管理の中で重要な遺構であり特別史跡に指定された遺構を荒らすことになるため、文化庁からはそのまま残すよう指導をいただいている。

(市民)

- 工期がオリンピックまでだと間に合うか。急ぐとお金が400億円で済まずにもっと膨大になるのではないか。バリアフリーの問題も併せて取り組むべき。
- エレベーターがないと来る人が少なくなるのではないか。

(市長)

- オリンピックまでに間に合うかについては、ちゃんと技術提案が出てくる。400年前は2年で造っている。トラックや携帯電話はない、クレーンはない、夜間工事はできない、高層建築技術はない時代に造っている。
- バリアフリーについては、福祉の人の話を聞いたら、車いすをみんなで上げる方がはるかにあったかと言っていた。姫路城には、エレベーターは、工事中に中を見る時に外側にはあったが、建物そのものにはない。犬山城にもない。火災が起きたらエレベーターは動かない。元々階段は2種類あり、急な階段は庶民用で、殿様はゆっくりな方の階段で上がった。プロポーザルの提案を待って考える。

（市民）

- そもそもなぜ木造復元なのか。
- 木造復元には賛成だ。エレベーターを付ければ復元ではなく、復興になるのではないか。完全木造復元、ハイブリット復元などについて予算などが提示されれば理解が深まるのではないか。城郭全体の復元も進めてほしい。
- 世界にアピールするために、本物の木造でやってほしい。

（市長）

- 江戸城は場所が皇居なのでいろいろ問題がある。詳細な図面がないため、文化庁は認めないと思うが、仮に復元すると、木材を取られてしまうため、名古屋城はできなくなる。
- 文化庁は、ハイブリッド復元、コンクリートでの復元は認めていない。審議会の前にこれは不可能だと言えないから、木造で復元すればいいという意見ができる可能性が高いと言ったものである。実際は木造しかできないということである。
- エレベーターは私は反対である。火事が起こったらエレベーターは止まる。最初から担いでいけば、いざとなったら担いで降りられるし、人が関わるのであったかい。

（当局）

- 技術提案・交渉方式のなかでバリアフリーの提案もお願いしている。
- 名古屋城の計画は、将来的に天守、多聞櫓、戦災で焼失した東北隅櫓、その他についても中長期的に整備をしていきたいと考えている。
- 文化庁の見解は資料に掲げてあるが、最も大切なのは整備手法について地元の自治体がどのような整備を行うかを考えることが第一だということである。こうしてタウンミーティングを開催しながらみなさまのご意見をうかがい、今後実施する市民アンケートなど判断を仰ぐ機会を設けて最終的に決めていきたい。

（市民）

- 木造にするなら国産の木を使うべきだが、かなりの時間がかかるのではないか。エレベーターのことも考えるべきではないか。300 万人以上の入場者が本当に来るのか。
- まず石垣をしっかりとしたものに造り直し、その上で木造をやるべき。
- 市民生活にどのくらい影響するのか、具体的に示してほしい。

（市長）

- 江戸城、大阪城、熊本城、広島城、岡山城などコンクリートの城があり、やりかけたら木材がなくなるが、反対に名古屋城がやれば他はできない。
- 400 年前に加藤清正は石垣を半年で造り、その後の天守閣も含めて 2 年程で造っている。トラック、携帯電話もなく、夜間工事もできなく、高層建築の技術もない、そういう中で 2 年で造ったという事実がある。
- 背負って上がったかどうかというのは一つの考え方を言ったままであり、引っ張るものを作るなど工夫の可能性はある。
- 名古屋城に 300 万人も来るのかというが、熱田神宮は初詣を引くと 400 万人、長島



スパークランド 560 万人で、無理な数字ではないと思う。新幹線で 1 日 40 万人、年間 1 億 2 千万人が利用しているので、無理ではないと思う。

- 400 年前に 2 年で造っている。具体的な提案をいただくが、それでだめという判断なら仕方がない。江戸城などで復元が進んだら、今後 300 年間はコンクリートであきらめる。
- 名古屋城債を発行する。利息は U F J で 0.025、名古屋市債だと 10 年債で 0.491、30 年債で 1.527 である。今だと税金で名古屋城に 5 億円使っているが、会社に任せたら反対に税金を払う方になる。500 円の入場料で 300 万人に増えるだけで、30 年間で元本と利息を全部払える。何もせずに福祉に 400 億円使ったらそれで終わり。名古屋城に 400 億円を投資したら、人が来て儲かる。
- 消極的な数字には反対している。天守閣だったら本丸御殿程度でなく、東京でもポスターを張るなどもっと営業して P R すべき。戦争で燃えた写真を使うなど。

(当局)

- 石垣は 10 年間で約 4 千の石を外して材質、刻印の有無、ひび割れの有無、石が接しているかなどの調査をしている。文化庁の指導のもと、石垣にシートをかけて保存している。来年度以降、使える石は使って、もろくなったものを一部変えながら整備をしていく。
- 建設工事については工法や材料により 270 億円から 400 億円と幅がある。入場者数の増加については本丸御殿の調査に基づいて市民のアンケートをもとに、それと同等の集客効果があると試算している。

(市民)

- 今日の議論は「検討しておく」との回答ばかり。我々団塊の世代には時間がない。木造にすることは大歓迎である。

(市長)

- 3 月終わりには、オリンピックまでに、どのくらいの金額で、どういう木材を使うかということが出てくるので、その時に皆さんはいよいよどうするかを考えることになる。ぜひ名古屋の名所を作りたい。産業の力はありがたいが、それに頼り切りでなく都市の魅力を作らないとだめになる。

(市民)

- 名古屋のシンボルという前提で進めることはもう一度考えてほしい。
- 木造で末代まで伝えられるような城を造ってほしい。
- 車いすや高齢者の方が最上階に上っていくことができるよう木造とコンクリートの混在型でいいのではないか。

(市長)

- ゆっくりやればいいというのは誤解であり、特に江戸城はいつやるかわからないので早くやらなければいけない。
- 木造とコンクリートの混在型でどうかという意見については、文化庁からは木造でやりなさいと言われる可能性が極めて高い。混在型で申請すると文化庁は不許可に思う。

(当局)

- バリアフリーについて文化庁から史跡等に関する手引きで示されており、復元に当たっての材料、工法は当時のものを踏襲することとなっているが、構造及び設置後の管理の観点から防災上の安全性を確保することもうたわれている。その観点でバリアフリーについても、事業者から提案を受け付けている。

(市民)

- 市民生活にかかわるので、今回は耐震改修でやってほしい。
- 耐震改修の回答が多かったアンケートの分析をしないと市民の理解は得られないのではないか。私はあわてなくていいと思っている。
- 海外のお客さんを気持ちよく連れていけるよう本来の姿で再建してほしい。

(市長)

- 400 億円は高いが、投資と考えるならなければならない。銀行にはお金が余っている。税金を使うのではなく、税金を稼ぐ必要がある。熱田神宮には初詣を除くと 400 万人程度来る。都市が儲からないと生活支援ができない。
- 今造らないと、江戸城、大阪城、岡山城などいくらでもあるので、それらが整備にかかったら木がなくなってできなくなる。
- 「市民の理解を得ながら」とはどういうことかについて、日本のトップの建設企業が具体的な材料、工法、オリンピックまでのスケジュールを提案してくるので、その選択肢をもって皆さんと考えたい。
- ネットモニターアンケートの 71%というのは、前提が間違っていた。鉄筋コンクリートで復元と言うのはあり得ない。コンクリートで復元できないことは文化庁に確認している。
- 今は 150 万人くらい来ているが少なすぎる。運営も民営化して税金を稼いでいただき、その分を福祉にあてていきたい。
- 今は本物の時代になったので、外国人だけでなく日本人も名古屋城に失望する。世界に一つだけの実測図を名工大の先生達を作ってくれた。もう 1 回お城を造ってくれ

という思いだったと思う。

(当局)

- ネットモニターアンケートについては、これまでいろいろ議会でも議論があったことを資料に載せさせていただいているのでご覧いただきたい。

(市民)

- ぜひ再建をお願いしたい。
- 今でしょ。やはり本物が一番いいと思う。
- 400 億円を福祉に使ったらなくなるという市長にがっかりした。

(市長)

- コンクリートでの復元は文化庁が認めていないので、いつかは壊さなければならなくなる。将来何もなしになるが、それは選択だから仕方がない。
- 今でも敬老パスで 130 億円、子どもなど福祉にたくさんお金を使っている。400 億円を投資に回して儲けるようにしてはどうか。

(市民)

- これだけの資料がそろっているなら、ぜひ木造でやってほしい。ただ、本丸御殿ができた後に天守閣の工事に入ってほしい。
- 木造賛成だが、他の城郭と比べてなぜ 400 億円と高くなってしまうのか。

(市長)

- 工事中の姿を見るのは人気があるので、大いに宣伝し、姫路城で行われた例を参考に、工事の時も観光客が増えるくらいに考えたい。
- 熊本城の本丸御殿も木曾ヒノキを使ったという説があり、立米で換算して比較する必要があると思うが、名古屋城は日本最大級の城なので高くなるのは間違いない。

(市民)

- コスト的にみてもコンクリートの箱ものを 10 回建てるより、今木造で建てた方がいい。ヒノキが使われると思うので、そのほうが林業の振興ができる。

(市長)

- 本丸御殿は迎賓館のような場所なのでいい木を使っているが、天守閣はどちらかというと櫓なので、とてもいい材料を使っていたかどうかはわからない。
- 木曾川上流の市長や町長からは早くやってほしいと言われている。産業を盛り上げるために、木造化で木を使ってほしいという話であった。

（市民）

- 木造は安全面で問題があるのではないかと。他の予算に影響するのではないかと。今の鉄筋コンクリートの名古屋城もなかなか素晴らしいものだと思う。
- 名古屋のランドマークとなるよう木造復元をお願いしたい。
- 本格的な木造できちっと作って欲しいが、建築基準法、消防法と木造復元をどうやって折り合いをつけるのか。

（市長）

- 濃尾地震は多分史上最大であると思うが、そのような大地震にも耐えた。天守閣は形が三角形なので地震に強いと聞いたことがある。文化庁も史実に忠実にしつつ、防火など安全性にも配慮するよう指導している。
- 国には金があり、愛知県で 17 兆円の貯金、UFJ は 12 兆円貯金があり、借りる人は半分の 6 兆円しかない。
- 名古屋市は毎年 1500 億円の市債を発行しているが、0 秒で売り切れる。普通預金の利息が 0.025、30 年の名古屋市の利率は 1.527、61.08 倍である。
- 年間 165 万人が来ているが少なすぎる。熱田神宮でも初詣を除くと 400 万人来ており、名古屋城も努力すべきだが、これくらいの数字を目指すべきである。
- 名古屋市民自体が名古屋城に行かない。幸い図面が残っているので、名古屋のシンボル、世界のシンボルとなる。名古屋市民は自信を喪失しているが、そのくらいの価値はある。
- 江戸城が具体的に木造化をやろうとしている。読売新聞の 1 面に載った。小田原城、甲府城も現実的にやろうとしている。大阪城もぼやぼやと図面も何もないがそういう話がある。先にやられてしまうと木造ではできない。木材の関係者は今やるべきだと言っている。

（当局）

- 名古屋城は国の特別史跡で何かやろうとすると文化庁の許可がいる。文化庁から史跡等に関する手引きで示されており、復元にあたっての材料、工法は当時のものを踏襲することとなっており、構造及び設置後の管理の観点から防災上の安全性を確保することもうたわれている。
- 建築基準法、消防法の関係については、現行では木造は建てられないが、その中に適用除外というものがあってそれに則り進める。本丸御殿でもその法律を適用し、現行法と同等の耐震性能と防災性能を求められており、それをきちんと証明した上で建築審査会に諮ることとしている。そこで認められて初めて整備が可能になる。天守閣の木造復元についても、これらの法律、手順に基づいて進めることとなる。

（市民）

- 財源など市長の決意を示してほしい。
- 耐震改修 71% を無視して進めるのは基本が違うのではないかと。再建で障害者が見学することができないのはいかがなものか。エレベーターの設置について考えてほしい。

い。

- 耐震に賛成。介護保険や医療費、特養、保育料などにお金を使うべきではないか。

(市長)

- 一般会計から400億円は使わない。税金を使うどころか生み出す。レゴランドは500億円かかり、名古屋市が駐車場で170億税金を使う。なぜ天守閣にはそういう発言をして、レゴランドは心配しないのか。天守閣を木造にしたらやりたい会社が出てくると思う。
- ネットモニターアンケートでは、コンクリートの再建が3%と出ていたが、文化庁に確認したら、コンクリートでの再建はできないと言われる可能性が高いとのことだった。できないことを項目に入れるのは間違っており、市民の皆さんが誤解する。
- エレベーターは火事や地震の時に止まる。姫路城もエレベーターを造らなかった。福祉の人に聞いたら、人力で車いすを上げる方がいざという時にも対応できるし、複数的人力が関わるからあったかいということだった。エレベーターが障害者の方にとってやさしいかということ必ずしもそうではないと思う。
- 貧富の差が激しい。400億円をかけて名古屋でお金を使うべきである。銀行は皆さんの貯金を使って国債を買って東京に投資される。市民生活を守るためにも必要な投資をやらないともっと悪くなる。

(当局)

- ネットモニターアンケートについては、議会でも議論があり、資料で紹介しているのでご覧いただきたい。

(市民)

- 木造復元を何が何でもやってもらいたい。戦災で焼失した最大の国宝建造物として、いろんな方から寄付を募ればよい。

(市長)

- 文化庁に確認したところ、今のところ図面で寸法まで残っているのは、世界で名古屋城だけだという。
- 本丸御殿は本物の障壁画が残っている。一定期限をもって皆さんに本物を見ていただく。
- 世界から寄附はもらってもいいと思う。寄附もいいが本当は名古屋城債を皆さんに持ってもらい、株主になってもらいたい。入場料だけで、30年くらいで元本も利息も償還できる。その他にもお土産などの売り上げも期待できる。

(市民)

- 木造は地震、雷、火事に弱い。
- 国家プロジェクトではないか。大企業を巻き込んで進めていくことはできないか。
- 確保されていない財源で見通しもないのに進めてよいのか。木造復元は非常に難しく、オリンピックまでに間に合うのか。儲かるというが、本当に儲かるのか。

(市長)

- 文化庁の基準でも、できるだけ史実に忠実にとしながらも、防災上必要な設備はよいとされており、最新鋭の技術を加味してよいものができる的信じている。
- 国家プロジェクトどころか世界で一つなので、大きなところをお願いをしていく。
- 世の中に 100%儲かる話などないが、熊本城、姫路城、掛川城では儲かっている。江戸城も 500 万人来ると言っている。熊本や姫路よりも名古屋の方が圧倒的に地の利がよい。二条城と名古屋城をセットにするとたくさんお客が来ると思う。熱田神宮の初詣を除いた 400 万人は当然目標にしてよいと思う。
- 総務省に確認したが、400 億円全額が起債で行っても大丈夫だと聞いた。儲ければ儲けの中から払うことになる。レゴランドで 500 億円、名古屋城 400 億円、どちらが儲かるか。大名古屋ビルディングは 500 億円、ミッドランドスクエアは 800 億円、あべのハルカスは 1300 億円である。みんな民間の資金で建設し、税金を払う方でやっている。
- UFJ の定期預金の年利は 0.025% で、100 万円預けても 250 円しかつかない。名古屋市が 400 億円を 30 年債で発行したら、利息が 1.527% になり、100 万円で 15270 円つく。預金で置いておくくらいなら名古屋市債に投資してほしい。現在の試算では、入場料を 500 円のまま据え置いても、入場料収入だけで 30 年で元本も利子も全て完済できる。
- 木材の専門家は 1 日でも早くやらなければいけないと言っている。江戸城が着手してしまったら木材は手に入らない。

(市民)

- 起債をすると、市外、県外、海外の方に買っていただくことは可能か。城好きの方のなかには、エレベーターは許せないという人もいる。
- 木造復元には賛成だが、オリンピックに合わせてというのは反対。本丸御殿がきちんとできて、期間限定で障壁画特別開帳を行ってお客さんを呼べば来場者も増えるのではないか。
- お話いただいた内容が実現するなら素晴らしいと思う。「儲かる」には疑問を感じる。金シャチ横丁のような、城自体と城周辺と連携した魅力向上のビジョンを描いてほしい。

(市長)

- 市債は、一般の株や社債と同じだと考えていただきたい。一度には販売せず、4 回ほどに分けての発売になるだろうが、第 1 回目の方には「第 1 回名古屋城天守閣債債

権者」という表紙を付けたいと思う。世界にアピールできる儲かる債券となる。

- エレベーターは私は反対で、車いすを人力で持ち上げるのかなと思うが、専門家の提案を待ちたい。
- 木材確保のために急がなければならない。400年前加藤清正らにより2年で築城している。トラックもクレーンも携帯電話もない中でやり遂げている。現代では、取り壊し工事も含めて4年でできないなどということはないと思う。
- 障壁画は本物を飾らないといけない。全部を常に飾れということではなく、模写があるので、年間2週間か3週間交代で出していく方がリピーターに来てもらえる。
- 今の時点で主体が民間だったら「今すぐにでも造らせてくれ」と頼むと思う。現在も20数名の市職員がいて、毎年5~6億税金を使っている。少なくとも来場者に対し、「ありがとうございました。また是非おいでください」と頭を下げるような施設にならなければいけない。
- 役所が管理部門を全部やって民間に任せるという形ではなく、管理部門から民間に任せるべきである。

(当局)

- 金シャチ横丁については基本的には民間の力でとのことで、事業者を募集している。市役所の駅から上がったところと、能楽堂の東に平成30年春にオープン予定である。

(市民)

- 木造でできたらいいと思う。天守閣と本丸御殿だけでなく、名古屋市全体をよくすることを総合的に考えてほしい。
- 市長に全面的に賛成する。新しい城を見て全国の人に感激してもらいたい。

(市長)

- とにかく天守閣を大至急スタートして、いずれは愛知県体育館にも出て行ってもらう図面をもとに全体的に整備したい。
- 入場券をもう少し中に入ったところで売るようにしてはどうか。大阪城は中に入ったところで入場料を取っている。名古屋城も無料入場の部分をつくってそこに飲食や物販などを整備して、お金を落としてもらう仕組みを作ればリピーターも増える。
- 民営化したい。観光客が増えれば儲かり、減れば倒産するという緊迫感を持った人がやらないとだめだ。市の職員には切迫感がない。
- 新国立競技場にも木材は使われるが集成材であり、木造復元には影響ないようだ。オリンピックまでにと表現すると反対されるが、そうではなく、樹齢の長い木材の確保を急ぎたいということである。

(市民)

- 木材調達を簡単に考えてはいないか。技術者の確保もすそ野が 400 年前とでは全然違う。
- 市民アンケートは賛成か反対か二者択一とし、その意見に従ってもらえると考えればよいか。5 年以内にできなかった場合の責任はどうなるのか。
- 民間からアイデアを募集して名古屋城全体で集客して、リピーターを呼び込んでお金を落としてもらえる形で整備してほしい。

(市長)

- 木材の専門家からは今ならできる。早くやらなければできないと聞いている。業者が手をあげてくれたので提案してくる。技術者も早くしないと、40 年、50 年経つとみんな衰えてくる。
- 市民アンケートについては、文化庁に確認したところコンクリートでの再建はできないので、耐震診断をやってそのまま長引かせるか、木造に替えるかという選択になると思うが、正確な理解をしていただいて、それからどう考えますかとやらないと正しい答えにはならないと思う。
- 5 年以上できなかったらということはない。2020 年 7 月までにできるという条件で業者に手をあげてもらっている。
- 民間からのアイデアでやることは大賛成である。今は運営に税金を使っているが、民営化して来訪者に挨拶する、税金をもらえる施設にする。

(当局)

- 2020 年 7 月までに木造復元する場合の提案を業者から募集して選定していく。この中で木材の調達についても提案をもらうかたちになっている。
- 事業者から提案をもらうと工期・工程・概算事業費も明らかになってくるので、それらと財源フレームも示して無作為抽出による 2 万人規模のアンケートを実施する。具体的な方法は、今後、市長と相談して詰めたうえで実施したい。

(市民)

- 名古屋城はきちんとした図面があるので当然進めるべきである。地震については、法隆寺も強固なつくりになっているので木造でも大丈夫だと思う。
- ぜひとも名古屋城は木造でお願いしたい。大黒柱などを国産材とし、それ以外は外材でもいいのではないか。出資を募るのであれば、幅広く民間の方から募るような、お金を出しやすい方法を考えてほしい。市民アンケートはどういう方法でやるのか。決定権はあるのか。
- コンクリートは入りたいと思わない。バリアフリー化は難しいと思う。

(市長)

- 江戸城の資料を見てきたが、外形図の寸法はあるものの、内部の寸法がない。外部も内部も寸分違わぬ図面が残っているのは名古屋城だけである。
- 濃尾大震災の時も壊れなかった。三角だから強いという話もある。文化庁も必要な耐



震補強はやってよいと言っている。

- 材料はほとんど国産で可能である。岐阜県や長野県の方から林業があるので早くやってくれと言われている。姫路城には大黒柱があるが、名古屋城は1層1層積み重ねてあり、通し柱がないという説がある。
- 寄附をやってよいが、市債の方が利息を得られるし、民間が運営すれば頑張る。
- 市民アンケートは、これからどうやってやるのか、どういう意義があるのか考えたい。
- バリアフリーは提案を待っているが、エレベーターは造らないほうが良いというのが私の気持ち。地震や火事があったときにエレベーターは使えない。ロボットがつくれるかもしれないし、みんなで車いすを持って上がるなどの仕組みが考えられる。

(当局)

- 材料について、プロポーザルでは原則として国産材で、一部国産材でない場合はその代替案を提案して下さいとしている。バリアフリーについても提案の内容に入っている。

(市民)

- 木造復元はやってよいが急ぐべきではない。100年、200年先に国宝をめざすなら時間をかけるべき。
- 日本一の大きさ、美しさ、技術を持った名古屋城を見たい。70年前に燃えてしまったそのままだができるのなら見たい。
- 400億円かかろうが、500億円かかろうが本物でやってほしい。税金でなく、寄附金で集めたい。

(市長)

- 材木は早くやらないとなくなってしまう。江戸城の復元が読売新聞に掲載されていた。木材の乾燥は、400年前は2年で造っており、今は乾燥機もあるので、そうすればできると聞いている。
- 今の名古屋城を文化財登録するのも一つの考え方だが、私は本物を見たい。
- 入場料収入だけで400万人目指せば、年間20億円の収入があり、30年間で600億円の収入となる。利息が皆さんに払われる。税金を稼ぐ街になるべきである。

(市民)

- 木造再建に賛成。外国人の友達と一緒に رفتたりするが、外から写真を撮って、いいなと思っても、中に入ってエレベーターがあって、コンクリート造りだということになるとミスマッチで失望したとよく言われる。観光面でも何年かたったら名古屋にとってメリットがある。
- 木造とすることが市民に利益をもたらすものではない。他の城郭では町おこしでお城を再建しても意図した結果はもたらしていない。必要な補強や将来計画としての建て替えを検討すべきである。
- リニアの開設に合わせた方が名古屋城に来ると思う。

(市長)

- ポーランドのワルシャワ、ドイツのドレスデンの聖母教会は第二次世界大戦からの復興で、みんなが瓦礫を集めて再建した。街の自慢であり、民族の自慢であり、歴史を後世に伝えることだと思う。
- 名古屋城には今のところ、世界で唯一寸分違わぬ図面がある。
- リニアに間に合わせればよいというのも一つの考え方である。江戸城、小田原城、甲府城で木造再建の話があり、どこかが先に木造再建してしまえば、材料がなくなり名古屋城はできなくなる。

(当局)

- バリアフリーについては大変重要な課題であり提案を求めている。
- 平成 32 年 7 月までの提案をいただくようにしている。
- 他の城郭整備前後の比較については、熊本城でいうと着工の前と後を比べると 3 倍ぐらいの数字が出ている。それから、落ち着いたところで 2 倍ぐらいという数字である。

(市民)

- 材料がなくなるから焦って早くやるというのは考え直した方がよい。エレベーターはつけるのではないか。そうなれば今となんら変わらない。
- 木造新築物に過ぎないと思う。お年寄りをおんぶして上がればいいというのは乱暴な考えである。
- 技術の伝承ができる今のうちに木造化をやるべき。

(市長)

- 400mm 以上の材料が 1,000 本必要。もっとも大きいのは直径 1m、長さ 10m 以上の松で、青森県に聞いたら今ならいいと言っていた。
- 本丸御殿は市民から寄附を求めたことも、その時の考え方でいいと思うが、国内には金が余っており、銀行を儲けさせるぐらいなら、名古屋市債を買っていただいたほうがいい。
- バリアフリーについては、私は、おんぶをして上がった方がいいと言ったつもりはなく、車いすを持って上がったらかどうかと言ったつもり。ロボット、人力などアイデア

をいただけると思う。エレベーターはいざという時に使えない。人がたくさんいて対応した方があったかいと体の不自由な方から聞いたことがある。

- 先人がなぜ図面を描いたのか。空襲を予想していたかはわからないが、火事などで燃えた時にもこの図面を使って復元して名古屋の自慢にしてほしいという気持ちが込められていると思う。
- 出来る限り今のうちに木曾ヒノキを使わせていただいて、自分たちの歴史に感謝する。岐阜や長野の人は、首長も含めて、林業があるから早く木をつかってくれと言っている。

(市民)

- 1割の50億円程度の寄附を目指すのなら寄附金を出してもいい。
- 日本古来の技術を伝承するために再建してほしい。

(市長)

- 銀行に預けるよりも市債を買った方がよく、財産として相続される。30年間で元利、利息とも全部返せる。400万人来なければいけない。江戸城は500万人とっている。
- 名古屋の風土も本物を引き継いでいく。トヨタがこれだけ強くなったのも本物を造って技術革新に勝ってきたからである。

（市民）

- 木造復元を今やるべきではない。高齢者対策にもっと税金を使うべき。
- 木造復元を急ぐのは絶対反対で、記念樹として一本一本植え、50 年、100 年というスパンで考えられないか。
- 再建には賛成。ただし、時期、工程は検討した方がよい。櫓、門、塀などを復元させた方が名古屋城としての魅力を観光客に訴えられる。リニアに併せて再建を考えてはどうか。

（市長）

- 名古屋城は税金を使わずにやれる。起債で 30 年物であれば入場料 500 円で 400 万人来れば、入場料だけで 20 億円、30 年で 600 億円となる。400 億円の事業費だと利息が 150 億円くらいだと思うのでおつりがくる。その代り 400 万人来るためには努力しなければならない。それにプラスして宿泊、お土産などの経済効果がある。
- 庶民の生活を楽にするために必要なお金を使う投資である。木造復元しなければ、400 億円を名古屋で使えないので、銀行などが国債を買って、国や東京にお金が落ちるだけである。
- 材木屋の方が言ったが江戸城を先にやられたら木がなくなる。残念ながら 300 年再建できない。江戸城の木造復元が読売新聞のトップで出ている。

（市民）

- 木造復元は賛成だが、まず下水道の整備をしてからやってほしい。
- オリンピックに惑わされず、丁寧なスケジュールと手法を用いて末永く愛されるものになるよう取り組むものであり、急ぐべきではない。
- 木造復元は賛成。耐震などいろいろ問題はあるが、夢を持ってやるべき。

（市長）

- 銀行にお金が余っている。投資をして稼げる街にするべき。税金を名古屋城に使うというのは間違い。姫路城は入場料を倍の 1000 円にしたが、ネットをみてもみんないいことを書いている。
- 自慢になる建物を造って、世界から 400 万人来ていただき、ここで稼いでもらって、そのお金を福祉にあてていく街を作る。

（当局）

- 江松地区、中でも 3 丁目は下水道が入っていないことを承知している。区役所としても上下水道局に一日も早くできるよう粘り強く働きかけていく。本日、市長が同席するタウンミーティングで下水道に対するご意見があったことを上下水道局長に伝える。

（市民）

- 金シャチ横丁を拡充して、できれば円頓寺商店街から引っ張って、名古屋城までぶらぶら食べ歩きができるようなものが、地域全体でやれたらいいと思う。税金をそう使

わなくて寄附や市債で建てることのできるなら賛成。

- 復元だと 80 歳以上の方はまず上れないと思う。楽に上れるエレベーターなどの想定はあるのか。

(市長)

- 税金を使わずにやるなら賛成というのはいい意見だと思う。税金を使わず市の人間が働かなければならない。毎朝いらっしゃいませと頭を下げる。
- 金シャチ横丁から円頓寺へ食べ歩きができると楽しい。400 万人来れば相当賑わう。
- 寄附をしていただける方がいれはうれしいが、起債でやればいいし、その分市は稼ぐ努力をする。
- 私はエレベーターはなしでいいと思う。火事や地震でエレベーターは止まってしまう。緩やかな階段もあり、そういうところをロボットなどで上がっていけないかとか、車いすを何人かで持ってあげるようにできないか。私が知っている体の不自由な方は、市長の言うことは正しいと言っている。

(市民)

- 耐震補強をして 40 年後に考えるよりは、今から木造復元を考えるべき。本丸御殿ができるなら天守閣も木造復元すべき。
- 木造復元大賛成。観光都市名古屋をめざすなら 1000 万人観光客を入れるくらいの覚悟でやるべき。
- 若者の生活を成り立たせるためにお金を回してもらえないか。豊かになって赤字市債が減った時に考えればよい。2 万人アンケートをどのようにとるのか。

(市長)

- 借金ではなく、観光客にたくさん来てもらって儲けるようにすればよい。400 万人目指すとすると、熱田神宮の年間 650 万人から初詣を引いた数と同じである。
- 400 万人来ると、入場料が 1 人 500 円なので毎年入場料だけで 20 億円、30 年経つと 600 億円となる。400 億円で試算し、金利が 150 億円くらいなので、400 万人来れば入場料だけで十分払える。それ以外にも宿泊などで様々な経済効果がある。その代り観光客を集める努力をしなければならない。
- 市債は借金ではない。お金が銀行に余って仕方がない。できれば名古屋市債に使っていただきたい。市債を買っていただければ利息が皆さんの所得になる。

(当局)

- 地域バランスなども考慮した無作為抽出による 2 万人規模のアンケートを実施予定であるが、具体的な項目や方法については現在検討中である。

(市民)

- オリンピックまでは、建設ラッシュで資材が高騰することが予想されるので、オリンピックの後に着工した方がよいのではないかと。500 人の市民意見のうち、71%が耐震補強や改修を行うべきということで、木造復元は 15%ということから考えると、常識的に考えて木造復元は民主主義の観点から否定されるのではないかと。
- 天守閣だけでなく、本丸御殿、石垣、土塀、二ノ丸庭園など周辺施設も含めて検討すべき。オリンピックに間に合わせるのは無理がある。総合整備計画に時間をかける。そのためには住民投票にするべき。
- 木造復元は賛成。天守閣を映画撮影に提供するのもありだと思う。今、天守閣の中に展示しているいろいろなものはどうするのか。小天守閣は今のまま置いておくのか。

(市長)

- 税金は使うつもりはない。市債であれば皆さんの財産をつくることになる。銀行であれば金利が 0.01 か 0.02%、100 万円だったら 100 円か 200 円、名古屋市債 30 年物だったら 1.4%、100 万円だったら 1 万 4 千円返ってくる。
- アンケートの結果については、前提が間違っている。鉄筋コンクリートで造るのは認めないと文化庁に確認した。コンクリート復元を前提とした項目を入れれば、コンクリートで直せばいいという回答になってしまう。
- 江戸城、小田原城、甲府城などが木造復元をやろうとしており、先にやられたらでき

ない。

- 住民投票をやれというのは、必ず出る意見だが、アンケートではなく住民投票というのは一つの選択肢だと思う。
- 3年で代わる役人が計画を作るより、スーパーゼネコンが競争して提案した方がよっぽどいい計画ができる。
- 内部の展示についてはこれから考える。

(当局)

- ネットモニターアンケートについては、市長の見解、その他の機会にいただいた、いろいろなご意見を資料に掲載している。
- タウンミーティングは終了後、速やかに現在行っている内容についての資料を載せる予定である。
- 天守閣内の展示品は現在、展示収蔵施設という施設を城内に整備をしておきそちらで収蔵をしていく。
- 小天守をどうするのかということについては、大天守と小天守、木造にする場合については、両方ともである。

(市民)

- エレベーターはどうするのか。カラスが多いので鷹狩をしたらどうか。義直公、家康公の銅像がないのはどういうことか。
- 一日も早く木造建築を進めていただきたい。400億かかっても名古屋市民の財産である。

(市長)

- エレベーターは火災になると動かない。最新鋭の技術で新しいロボットで抱えるようなものがあればいいし、車いすをみんなで持ち上げたりする装置があればいい。私はエレベーターには反対である。
- もし法隆寺がコンクリートだったら修学旅行に行くだろうか。1日も早く木造で、しかも国産材でというのは私も思っている。
- 起債が財産だということをしっかり捉えるべき。名古屋城の株主みたいになっても良かったらいいと思う。
- 銅像が少ないというのは本当にそう思う。義直、宗春、家康もない。
- みんなで雑巾でもかけて400年大事に使おう。将来の人はいいものを残してくれたと言ってくれると思う。

(市民)

- さらなる鉄筋補強、バリアフリー化、外壁工事によって市民の大半が希望している名古屋城ができる。木造化は税金の無駄使いに等しい。
- 復元できれば見たこともない建築なので効果は高いと思うが、耐火、耐震、バリアフリーなどの関係でコンクリート造りに近い木造のものができたら無駄使いである。
- 木造で復元すればいい。条件付き賛成で、男女共同参画を進めていただきたい。

(市長)

- 市民税は全く使わない。市民税を稼ぐ方である。名古屋城は公務員が 20 何人かいて、5 億円かかっている。
- 名古屋城も熱田神宮のように 400 万人来てもらうように努力する。
- 名古屋城は姫路城と比べても場所がよく、東京と大阪の真ん中で新幹線で 1 日 40 万人が名古屋駅に止まっている。
- 昭和実測図という詳細な図面があり、寸分違わぬ復元を目指す。文化庁も一定の防火上の設備をつけるように指導している。
- エレベーターはない方がいいと思う。地震や火事が起こると使えない。ロボットなどの新しい技術があるし、みんなで車いすを上げてほしい。技術提案を待って考えていく。
- ワルシャワの旧市街、ドレスデンの聖母教会は復元して世界遺産になっている。世界で寸分違わぬ詳細な図面があって復元できるのは、今のところ名古屋城だけと文化庁は言っていた。

(当局)

- そのまま復元という話について、文化庁の考え方を紹介すると、「史跡等における歴史的建造物に関する基準」というのがあり、その中の基本的な考え方として、復元に用いる材料、工法は同時代のものを踏襲しなさい、ただし構造及び設置後の管理の観点から防災上の安全性を確保することとなっている。
- 防災上、構造上の安全性というのは当然確保させていただかなくてはならない。その中で現行の建築基準法の中に第 3 条 1 項 4 号というのがあり、現在の法律を適用除外できるものがある。ただし防災上、構造上の安全性を確保しなければならないということで審査会というのが開かれる。審査会で了解されてはじめて建てられる。一旦、建築に関する規制を解除しながら、合法的に安全が確立できるのか、バリアフリーができるのかも進めていく。その点で建設事業者から提案をいただいているところである。

(市民)

- 木造復元に賛成だが、ケーソンや石垣、展示品はどうするのか。釘一つにしても和釘を使うから今の鉄では使えない。スケジューリング的に無理ではないか。城内に展示している物品についてだが、展示する施設を新たに造るのか。
- 志段味地区の整備にも目を向けてほしい。



- 耐震改修でよい。もっと市長が暮らしに目を向け、お金を使うべきところはもっと多くある。

(市長)

- 文化庁に確認したがケーソンを残してもらっていいと言っていた。コンクリート基礎を使いながら復元する。
- 寄附をもらってもいいが400億円全部起債でいい。400万人来ると、入場料500円で毎年入場料だけで20億円入る。30年起債を発行すれば、600億円、利息は150億円なのでおつりがくる。

(当局)

- 現在展示収蔵施設を整備しており、重要文化財などを収納する。
- 釘などは、本丸御殿の復元でも和釘を使っている。
- ケーソンについては、文化庁から遺構を傷つけてはいけない、ケーソンを残すようにと話を受けている。今のケーソンを使うのかという点について、提案を受けているところである。

(市民)

- 木造で立派なものを作っていただき、すばらしいお城ができれば、もう一度名古屋に行ってみようと各地から来てくれると思う。
- 木造復元を市長の在籍中に進めてほしい。市民の力を結集して積極的な寄附活動など市民と行政ぐるみで名古屋のまちおこし大運動を巻き起こそう。
- 天守閣より、市民の安心、安全、暮らしを守ることを優先するべき。道や下水道などインフラの未整備地区が中志段味である。この問題を解決して志段味を自慢できる街にし、名古屋城も成功させるようお願いしたい。

(市長)

- ネットで見ると名古屋城は行きたいお城ランキングの20位に入っていない。人気がないのに165万人来るのは、場所がいいから。いいものを造ったらものすごく人が来る。
- 金鯨のある名古屋城は名古屋人の誇りだった。昭和実測図を描いた人たちの何かあったとき造りなさいよという気持ちを考えると木造でやり直さなければならない。
- 中志段味の下水道、一遍話を聞いてしっかりやるようにする。

(市民)

- 木造復元に賛成。技術の伝承という点からも木造復元すべき。観光資源としても計り知れない効果を持つ。
- きちんとしたものをきちんとしてやる。そういう精神で市のシンボルとしてやってほしい。残すなら修理ではなく本格的にやってほしい。
- 木造再建大賛成。全国の城を回ったが、木造の現存する天守閣があるお城、木造再建したお城はよかった。

(市長)

- 技術者が減っているというのは事実で、早くやるべきである。
- 総務省に問い合わせたら 100%観光その他事業債で行けると聞いた。税金は使わずにできる。観光資源としての意味は極めて高い。
- 名古屋城は人気 20 位に入っていない。来る人は全国 3、4 番目と入場者は多いが、一度来るとがっかりして人気がない。

(当局)

- 現在、平成 32 年 7 月までに木造復元する場合の提案を事業者から募集しており、優秀提案を選定していく。その結果が出ると、28 年度に市民の皆様へ、天守閣の現状や課題、工期・工程・概算事業費、財源のフレームも含めてお知らせし、2 万人規模のアンケートを実施する予定である。

(市民)

- 大反対だが、税金を一切使わないならやって下さい。それなら、こんなこといちいちやらないで、どうぞやって下さい。起債だけといっても、それは借金。アンケートの結果についてはどう思っているのか。
- 名古屋城の図面には釘の長さや位置が載っていないと思う。釘について研究しないとバラバラになってしまう。
- 木造で復元されると聞き、ぜひとも名城の復活を願う。名古屋城築城は平針木遣音頭のルーツである。

(市長)

- アンケートについては、文化庁はコンクリート再建はできないと言っていた。コンクリート再建ができるとすると、コンクリートで直せばよいという回答につながる。アンケートの前提が間違っている。
- 熱田神宮は初詣を除くと 400 万人来ており、名古屋城も 400 万人目指そうと言っている。入場料は 500 円で頑張ろうとすると、400 万人来れば毎年 20 億円を入場料収入だけで賄える。起債は 30 年物で 600 億円、利息は 150 億円ほどである。それプラス各種経済効果がある、莫大である。皆で努力する。民営化する。
- みんなで努力すればもっとすごい経済効果を生む。全部起債でいいし、一部寄附金を募るとなるかもしれない。

(当局)

- ネットモニターアンケートについては、いろいろと議論があり、資料にまとめたのでご覧いただきたい。
- 財源については、今後、技術提案で概算の経費も出てくるので、その後、財源フレームを示したうえで市民の判断を仰いでいきたい。
- 釘については、今後史実を調査しながら進めさせていただく。

(市民)

- 名古屋で自慢できる、案内する所がない。木造の本物を再建していただきたい。
- 木造再建は賛成だが、2020年までとなると国立競技場と重なり、費用が割高になる懸念がある。木材を乾燥させるのにも時間がかかる。税金を使わないでやっていただきたい。
- 木造復元に賛成。材木はどうするとか、何年かかるとか、そういうことを心配する必要はない。2回ぐらい植林に行ったが、これには賛成。

(市長)

- 名古屋には本当に連れていくところがない。名古屋城に行く残念ながら失望する。岡山城、広島城、和歌山城などコンクリートのお城はいくらでもある。空襲で焼けた時に建築基準法でまだ例外がなかったのでコンクリートしかできなかった。自慢できる建物を造りたい。
- 税金は使わないでやりたい。400万人を目標にしてやれば十分儲かる。
- 本丸御殿の植林に行ったが、植林するのはいいこと。

(市民)

- 急いでやるべきではない。将来建て替える時が来たら木造復元はやってもよい。4年ばかりの工事で国宝級の木造建築ができるのか。起債は借金ではないというが、いずれ返済をしなければならない。私たちの生活は厳しいので、今やるべきではない。

(市長)

- 急いでやるべきではないと言われるが、江戸城がやり始めたらできなくなる。
- 銀行にお金が大変余っている。名古屋城債を皆さんに持ってもらうのがよい。30年債とすると30年後に市が払えばいいということ。30年間利息がもらえて30年後に元が返ってくる。
- 突貫工事ではない。400年前は2年でできている。日本のトップの事業者のプロポーザルを待って、皆さんと考えていく。